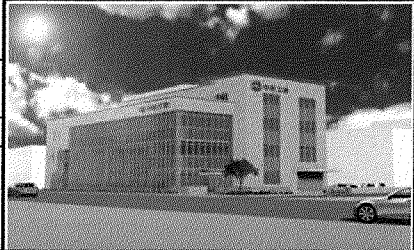


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	中島工業本社社屋新築工事	階数	地上4F、地下1F
建設地	京都府城陽市平川広田79番地1他	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2019年3月4日
敷地面積	1,643㎡	作成者	おくだ建築士事務所 奥田義二
建築面積	986㎡	確認日	2019年3月15日
延床面積	4,181㎡	確認者	おくだ建築士事務所 奥田義二



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 89%
③上記+②以外の: 88%
④上記+: 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	高効率機器を積極的に採用することで省エネルギー性に優れ、環境負荷を低く抑えられる建築物となるように配慮した。敷地内には屋根を含め、可能な限り緑化を計画することで、周辺に溶け込む建物となるよう計画した。	その他 特に無し
Q1 室内環境	事務所スペースには、吸音材を積極的に採用し、十分な自然換気量を確保することで、室内環境の快適性を確保した。また、喫煙所を計画し、室内を常に負圧に保つことで空気質環境が快適に保たれるように計画した。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺に開けた建物となるように、建物周辺には緑化を積極的に確保したほか、隣地とは極力距離を設ける配置計画とした。
LR1 エネルギー	断熱材は高断熱のものを使用し、建物内設備にはLED照明等高効率設備を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めた。	LR3 敷地外環境 建設に伴って発生するCO ₂ の発生量を低く抑えたほか、燃焼機器を設けない計画とすることで、地球温暖化及び大気汚染防止に配慮した。
Q2 サービス性能	仕上材には耐久性の高いものを採用し、維持管理が効率的に行われ、性能が長期間保たれるように配慮した。また壁長さ比率を低く設定し、将来フレキシブルにプラン変更に対応出来るよう計画した。	
LR2 資源・マテリアル	建築部材はリサイクル材や、将来再利用できる部材を積極的に採用し、部材の長期利用を図ったほか、節水にも配慮した設備を取り入れることで、環境負荷に配慮した計画とした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される